

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公開番号】特開2008-43110(P2008-43110A)

【公開日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2006-216316(P2006-216316)

【国際特許分類】

H 02 M 5/297 (2006.01)

H 02 M 5/293 (2006.01)

【F I】

H 02 M 5/297

H 02 M 5/293 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月1日(2008.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

三相電源(1)と負荷(3)とを、9つのスイッチからなるマトリックスコンバータ(2)で接続した主回路構成で、該マトリックスコンバータ(2)が前記負荷(3)に出力する電流を検出する電流検出器(33)と、該三相電源(1)の電圧を検出する電源電圧検出器(34)と、該電圧検出器(34)の出力を入力して電源電圧の位相と大きさを求めて出力する電源電圧位相検出器(42)と、該電源電圧位相検出器(42)の出力と各相の出力電圧指令と該電流検出器(33)の出力とを用いて前記三相電源(1)の3つの電源電圧の中で中間の電圧状態である相である中間相に流すべき電流である中間相電流指令を演算して出力する中間相電流指令演算器(43)と、該中間相電流指令演算器(43)の出力と前記電流検出器(33)の出力とを入力して、前記マトリックスコンバータ(2)の各出力相を前記中間相に接続する時間比率を求める中間相接続率演算器(44)と、該電源電圧位相検出器(42)の出力と前記マトリックスコンバータ(2)が出力すべき各相の出力電圧指令とを入力して前記マトリックスコンバータ(2)の各相の出力電圧が前記各相の出力電圧指令に一致するようなキャリア比較信号を出力する基準キャリア比較信号発生器(45)と、該基準キャリア比較信号発生器(45)の出力と該中間相接続率演算器(44)の出力を入力して6つのキャリア比較信号を出力するキャリア比較信号生成器(46)と、キャリアを生成するキャリア発生器(41)と、該キャリア比較信号生成器(46)の出力と該キャリア発生器(41)との出力を比較して出力する比較器(47)と、該比較器(47)の出力と前記電源電圧位相検出器(42)の出力の電源電圧の位相とを入力して前記マトリックスコンバータ(2)のスイッチを制御する信号を出力するスイッチ制御器(50)とからなるマトリックスコンバータ制御装置において、前記キャリア比較信号生成器(46)出力の6つの信号の中で最大のものと最小のものとの差を最小とするように前記中間相接続率演算器(44)の出力を求めることを特徴とするマトリックスコンバータ制御装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

